

Q13 実地棚卸の結果は、帳簿にどのように反映されるのでしょうか。

A13 帳簿数量と実地棚卸数量の差異を確定させた後、差異の原因を分析し、帳簿上の在庫数量の修正が必要な場合には、帳簿の修正を行います。

#### 解説

- ・帳簿数量と実地棚卸数量の差異は、必ず差異原因の分析を行い、その分析結果を文書化する必要があります。
- ・主な差異原因としては、①品目の入り繰り、②入庫処理モレ、③出庫処理モレ、④単位間違い、⑤カウントミス、⑥カウントモレ、⑦二重カウント、⑧紛失・盗難といったものが挙げられます。
- ・差異原因を分析し、類型化してまとめることにより、購買・生産・販売・在庫管理・実地棚卸などの各種業務を適正化・効率化するための改善ポイントを検討することができます。
- ・そのうえで、帳簿上の在庫数量の修正が必要な場合には、帳簿の修正を行います。通常、決算期末時点を基準日に実地棚卸を実施するため、修正結果は決算に反映されます。